

平成31年3月期 中間決算について

平成30年10月31日
JFE鋼板株式会社

平成30年9月中間期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(百万円未満切捨て)

連結経営成績

(%表示は対前年同期増減率)

	売上高		経常利益		特別損益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月中間期	31,321	5.0	△ 52	-	△ 8	-	△ 57	-
29年9月中間期	29,821	9.1	△ 144	-	△ 19	-	△ 184	-

注 連結子会社数

平成30年9月中間期 5社、平成29年9月中間期 5社

北長金日米建材(株)、JFE鋼板総合サービス(株)、JFE機材フォーミング(株)
レヂノルーフトック(株)、JFE日建板(株)

持分法適用関連会社数 平成30年9月中間期 1社、平成29年9月中間期 1社

JFE商事薄板建材(株)

(百万円未満切捨て)

(参考)個別経営成績

(%表示は対前年同期増減率)

	売上高		経常利益		特別損益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月中間期	27,545	5.8	△ 68	-	△ 8	-	△ 48	-
29年9月中間期	26,024	7.7	△ 245	-	△ 18	-	△ 206	-

【当中間期の概況と損益】

当社の当中間期の連結売上高は、販売価格の改善、高付加価値鋼板・フレームキット・住宅屋根の拡販等により、31,321百万円(前年同期比+1,499百万円、+5.0%)と増収となりました。

また、前中間期の業績に影響を与えた設備トラブルは解消しましたが、原板価格の上昇、西日本豪雨など災害の影響、操業・修繕関係のコスト増があり、経常利益は△52百万円(前年同期比+92百万円)、当中間期純利益は△57百万円(前年同期比+127百万円)となりました。

なお、コスト改善により、7-9月累計は黒字化を達成しており、収益は改善基調にあります。

【当期の見通し】

原材料価格の動向、異常気象等の不安要素もあり、当社を取巻く経営環境は引き続き厳しい状況が続くと予想されます。こうした環境下で対処すべき課題として以下の施策を展開し、連結・単体ともに通期黒字化を目指してまいります。

1) 製造安定化策の実施

操業・設備のさらなる安定化により一層の生産性向上を図り、需要に応じてまいります。

2) 販売価格の適正化

原板価格の上昇、タイトな需給環境をお客様にご理解いただき、販売価格の適正化を図ります。

3) 建材商品の拡大

アパート、高齢者住宅等で好評を博しているシステム軽量鉄骨「フレームキット」、また、緩勾配や狭小地用途にも適用可能な定尺立平葺き「ジョイント立平」の需要に応じてまいります。

以上